

第3回羽幌町環境基本計画町民検討会議 会議録

1 開催日時

平成29年3月6日(月) 午後2時00分～午後3時15分

2 開催場所

北海道海鳥センター 映像ルーム

3 出席委員及び欠席委員の氏名

- (1) 出席委員 米山 しげみ、菅原 新一、五十嵐 芳信、岩澤 光子、
高山 ミイ、濱野 孝、工藤 匡、藤田 隆二、木本 志津子、
上田 稔、竹中 康進
- (2) 欠席委員 北條 由紀子、米山 一夫、竹谷 るみ子、渡辺 奈智、
岡部 克寛、和泉 幸生、篠原 隆宏、川端 博明、村井 清人、
石川 みゆき、藤田 貴子、寺坂 國廣、村井 孝行、
布目 一也、新沼 文也、齊藤 暢、坂本 武房、奈良 清志、
佐賀 大一、坂本 学、野上 和馬

4 説明のため出席した事務局職員の氏名

町民課 課長 室谷 眞二
町民課環境衛生係 係長 山田 太志
町民課環境衛生係 主査 石郷岡 卓哉

5 会議の公開、非公開又は一部公開の別 公開

6 会議を非公開又は一部公開とした場合は、その理由

7 議題及び議事の要旨

(1) 計画素案に対するパブリックコメント

より広く意見を聞くため町民意見を募集したが、寄せられた意見はなかった。

実施期間 平成29年1月12日～1月31日(20日間)

閲覧場所 役場 1 階、海鳥センター、中央公民館、すこやか健康センター
天売・焼尻各支所、町ホームページ

(2) 第二次羽幌町の環境を守る基本計画

〔 意見等 〕

P5

【委員】 説明の中で 3 年または 5 年で中間評価を行うとあったが、計画の中に明記したほうがよいのでは。(担当が代わったとしても引継できる)

【事務局】 庁舎内の会議の場でも同様の意見があった。評価方法も含め策定後に検討する予定としていた。

【委員】 見直しが重要なのは第 4 章の重点プロジェクト。特に頑張らなければならぬところを 5 年で見直しするのもよい。

【委員】 5 年間でどこまでやれたのかを客観的に評価するのは必要。内容を変えることまではいらないと思うが。

【委員】 重点プロジェクトの中にスケジュールを入れている。この部分を評価するのがよいのでは。

【事務局】 計画に明記する形に修正する。

P58

【委員】 「天売・焼尻の自然の賢明な利用」とあるが、市街地区にも自然環境はたくさんある。島に限らなくてもよいのでは。

【委員】 重点プロジェクトであり、特に天売、焼尻にこだわっている意味合いだと思う。

【事務局】 第 3 章の基本方針 6 の中で町全体の自然の利用を位置付けている。重点プロジェクトとして島に特化した記載としたい。

P7

【委員】 自然環境保全の考え方の中で総合振興計画の枠内に「安心して魅力的な・・・」という表現があるが、安心という言葉はいろいろな捉え方がありどうかと思うが。

【事務局】 計画の中で謳われている言葉を引用している。

P60

【委員】 前回の検討会議でも指摘させていただいたが、全体的に表現が前向きになり大変ありがたい。重点プロジェクト4の環境にやさしい産業の推進の重点施策の中に、「適正な農業を推進」「適切な事業を推進」という表現があり、少し違和感がある。事務局で検討いただきたい。

【事務局】 印刷時までには表現を修正する。また、p24の事業者の役割の枠内に「これからも法令を守り・・・」という言葉があるが表現としておかしいので削除する。そのほか全体的に確認したうえで印刷に入りたい。

P73

【委員】 「湧昇流」という言葉は一般的にわかりにくい。横に注釈を入れては。

【事務局】 注釈を入れる。

【委員】 計画に載せるのはよいは、どれをとってもお金がかかること。予算面はどうなるのか。

【事務局】 策定後は計画に沿った形で事業を進めていくことになる。新たな計画の中で環境情報発信の拠点として海鳥センターの強化を載せているが、新たに地域おこし協力隊を採用して事業を展開していくことを考えている。

【事務局】 町の事務事業は総合振興計画に沿って進めている。この計画は総合振興計画を環境分野で補完する役割をもたせており、各事務事業を進める上で計画を意識した取組を行っていくことになる。

【委員】 地域おこし協力隊は有期雇用だと思うが、取り組みは今後も続いていく。協力隊がいなくなったらどうなるのか。

【事務局】 協力隊の任期は最大で3年間。現時点でその後については考えていないが、理想としては羽幌に定住していただき、引き続き事業展開をしていただきたいと考えている。本人の意識や生活が成り立つかどうかという課題もある。

【委員】 せっかく新しい計画ができて人もいなくなったから事業を縮小するというのは町民としても戸惑う。そのようなことがないように進めてほしい。

【事務局】 おっしゃる通りである。町としても任期満了後も定住していただき羽幌の自然環境に関する事業をしていただければと期待している。人がいなく

なったからそこで終わりということにはしたくない。協力隊が事業を進めるうえでもしっかりとサポートしていきたい。

【委員】 できれば文書に残してほしい。

【委員】 新しい計画はどのような形で町民に周知するのか。

【事務局】 予算の都合もあり全世帯に配布することはできないが、関係機関には配布したい。最低限、町ホームページで閲覧、ダウンロードできるようにしたい。また、策定にあっては広報でも周知していきたい。

【委員】 せめてスローライフ計画だけでも広報誌面にシリーズ掲載していただければありがたい。

【事務局】 誌面の都合もあるので今後、担当係も含めて検討したい。

○その他意見

【委員】 漂流ごみ（特にサンセットビーチ）や不法投棄への対策が必要である。

【事務局】 過去にはジュニアレンジャーの事業として海岸に寄せられたごみを回収していたが、とても処理できる量でなく今に至っている。気にしてくださる住民がいることはうれしいこと。今後も何かしらの対策は必要と考えており、ぜひ知恵をかしていただければ。

【委員】 資金面が問題であれば、住民団体（海鳥センター友の会など）が申請する形で国などの助成金を利用することはできるのでは。

【委員】 サンセットビーチの奥だけでも漂流ごみの回収ができれば。

【事務局】 実施方法や内容によっては町が一部支援することも可能と考えている。

※以上の意見を再度整理したうえで町民検討会議としての計画案をまとめ、議会常任委員会で説明、羽幌町環境審議会での審議を経て今月中に町長が策定することを説明し、会議を終了した。